科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：植物野外実習（高山植物の観察） ILAS Seminar : Experimental Practice in Field Botany			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　瀬戸口　浩彰 人間・環境学研究科 助教　阪口　翔太		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2024・ 前期集中	受講定員 (1回生定員)	15 (15) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	集中 前期フィードバック期間終了後に木曽駒ヶ岳にて二泊三日で行う	教室	初回の説明会を吉田南2号館4階403演習室で行います。日時はおってお知らせします。			使用言語	日本語
キーワード	生物多様性 / フィールドワーク / 高山植物 / 環境 / 観察と気付き						

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

自然界には多種多様な植物種があります。しかし皆さんが教室で受ける座学の生物学では、シロイヌナズナのようなモデル植物：わずか数種 における知見が植物学の全てであるように勘違いを起こしてしまうリスクがあります。

この授業のテーマは、野生植物を介して「生物多様性」を知る機会を持つことです。そして自分の眼で観察をして、自分の頭で考えることです。授業を通して、多様性の生物学やフィールド科学に興味を持ってくれる一助にして頂ければと思います。

この授業では、４月から７月にかけて３回の日帰り実習と座学を行った上で、８月上旬の３日間を使って、木曽駒ヶ岳の植物を観察します。野外において日本の野生植物の「分類」と「形態」、「環境への適応」について学びます。

皆さんが受講する機会が多い生物学は、共通のこと、普遍性のあるとされる内容、モデル生物における知見です。しかしこれは生物学の一面に過ぎません。多様性の生物学を学ぶことは、野生植物のゲノム情報が簡単に得られる今日において、将来に様々な環境問題に向き合うことになる皆さんにとって、必ず役に立つ素養です。

スケジュールは下記のとおりです。

１．４月～６月にかけて大文字山（如意ヶ岳）や鞍馬山などにおいて日帰り実習を行う（履修者は、このなかから都合のつく最低２回を選んで事前学習）。
２．７月　高山植物について事前学習（座学）
３．８月上旬（フィードバック期間終了の翌日あたりから２泊３日）　木曽駒ヶ岳にて自然観察
４．８月中下旬（お盆後まで）まで　レポート提出

＊成績報告は１ヶ月ほど遅れます。予めご了承下さい。

[到達目標]

「植物の分類、形態、環境への適応、植生を構成する植物種の多様性を理解する」「野外における自然の観察：いわゆる「フィールドワーク」の手法を習得する」：　例えば、山における地形（カ

ILASセミナー：植物野外実習（高山植物の観察）(2)へ続く↓↓↓

ール、稜線、ハイマツ帯、石が露出した森林限界の上、風衝地）では、生育する植物種の組成が異なり、また、植物の形も異なります。このような事項を自分の眼で観察して考察できるようになることを目標とします。

[授業計画と内容]

１．事前学習：履修確定後の４月から７月にかけての土曜日に、日帰りの野外観察と座学を行います。日帰りの野外観察は３回ほど行いますので、都合の良い日を選んで下さい。全ての回に出席することも、勿論歓迎します。
２．８月上旬　フィードバック期間終了後に、３日間の自然観察を木曽駒ヶ岳で行います。 日程は、宿の確保が確定次第にお知らせします。
３．レポートをお盆後までに提出します（電子メールでファイル添付の様式で提出）。

[履修要件]

学生教育研究災害傷害保険（略称：学研災）に加入していること（京都大学では入学の際、原則として全員加入することとなっていますが、稀に従っていない人が居ます）。
未加入の人は、学生部の保険担当窓口「教育推進・学生支援部　厚生課厚生掛」
Tel： 075-753-2539　にて手続きをとってください。

[成績評価の方法・観点]

出席と参加の状況５０％（事前学習と木曽駒ヶ岳の両方に出席した場合）、レポートの点数５０％で評価する。
木曽駒ヶ岳での実習では、3日間すべての日程に参加することを履修要件とします。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
清水建美ほか『山渓ハンディー図鑑８「高山に咲く花」』（山と渓谷社）ISBN:978-4-635-07030-0
（携行に便利で掲載種数が多い図鑑です。）
上記の図鑑は貸与しますが、この実習を機会に、自分用に購入することを勧めます。
低地での植物観察では、生物学実習用に用意したものを貸与します。

[授業外学修（予習・復習）等]

多くの履修者にとって、野外の植物を観察するという経験が初めてだと思われるので、授業を進めながら指示をします。
また、自学自習の機会として、京都府立植物園や京都市緑化協会などが一般向けに主宰する観察会や企画展を紹介しますので、興味を深めたい人は積極的に参加して下さい。レポートをまとめるにあたっては、教員やTAがサポートして、レポートの書き方などについて指導します。

[その他（オフィスアワー等）]

・１回生の履修者で定員に余裕がある場合には、２回生以上の学年でも参加は可能です。
・念のためにグループで小屋に宿泊する旧来の方法は止めて、指定するビジネスホテルの個室で2泊３日を過ごします。相互の親睦についても考慮します。
・実習に係る経費は受講生の負担となります。京都からの交通費や宿泊費、登山用バスとロープウェイ代などで、総額32,000円ほどを要します。
・木曽駒ヶ岳は、登山バスとロープウエイで2600mにある千畳敷カールにまで行くことが出来ます。そこから先の登山道も含めて観光地化された山ですが、授業で指示する安全確保については守って下さい。
・レポート提出がお盆の時期になるために、成績報告が一ヶ月ほど遅れます。
・オフィスアワーは特に設定していませんので、吉田南3号館3階F302室の研究室にまで個別に訪ねて来て下さい。